

立川 京西テクノ
 (東京都多摩市、臼
 井努社長、042・3
 03・0888) は、
 従来製品比で体積を約
 70% 低減した電子機器

基板の故障解析ツール
 「Attacker (アタッカー) III」を
 20日に発売する。操作
 部や演算部、表示部を
 タブレット端末に移管
 したことなどにより、
 装置の小型化を実現し
 た。価格は装置本体と
 タブレット端末で39万
 円 (消費税抜き)。今後3年間で50

電子基板の故障解析ツール 体積を70%低減

京西テクノス



アタッカーIIIの装
置本体と操作・
表示部のタブレッ
ト端末

0台の販売を目指す。
 アタッカーIIIは、非
 通電状態で良否判定を
 したい部品に探針 (プローブ) を当てて、良
 品データの波形と比較
 することで電子機器基
 板の故障箇所を発見す
 る。回路図面がない場
 合や回路知識が乏しい
 作業者でも良否の判定
 が容易にできる。

本体装置の大きさは
 幅140ミリ×奥行き1
 40ミリ×高さ70ミリ。

専用アプリケーション
 が納入された8台サイ
 ズのタブレット端末で
 操作でき、直感的で分
 かりやすい画面インタ
 フェースにした。また
 抵抗、コンデンサー
 などの部品単体の解析
 ができる機能のほか、
 回路動作を通電状態で
 確認できるメニューも
 搭載した。

同社は各種電子機器
 の受託修理サービスが
 主力。アタッカーシリ
 ウズは同社の業務
 効率化のために開
 発した。装置を外
 販することで本業
 の新規開拓先を広
 げる狙いがある。